

すいかずら

第27号

General Incorporated Association
Shrine and Temple
Architectural Decoration
Heritage Skill Association

平成30年3月発行

編集：(一社)社寺建造物美術保存技術協会

発行人：荒木かおり

〒616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2

(有)川面美術研究所内

Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099

<http://shabikyo.com/>

社团法人化2年目を迎えて
文化財建造物装飾に関わる伝統技術の継承そして
発展のため更なる活動を進めてまいりました

伝承者の育成



技術・技能の練磨



● 平成29年度 年間事業報告 ●

平成29年	活動 (●は国庫補助事業)	場 所
5月10日	第1回 理事会	京都 京都駅前メルパルク内会議室
5月20日	通常総会 ・平成28年度事業報告及び決算報告 ・平成29年度事業計画及び予算承認 ・三部会研修内容の報告 他	愛知 TKP ガーデンシティ名古屋会議室
6月6日	京都府文化財所有者等連絡協議会総会	京都 宇治公民館
6月15日	第2回 理事会	京都 TKP ガーデンシティ京都 会議室
7月14日	第3回 理事会	同上
7月21日	●共通座学研修会	京都 石清水八幡宮文化体育研修センター 清峯殿
8月8日	中京ふれあい「子ども体験教室」	京都 中京区役所会議室
9月8日	第4回 理事会	京都 京都駅前メルパルク内会議室
9月20日～22日	●固有技術向上研修会（丹塗・彩色研修会 第Ⅰ期）	京都 (有)川面美術研究所 工房
9月30日～10月1日	文化庁日本の技体験フェア 「ふれてみよう！ 文化財を守り続けてきた匠の技」 展示・体験	三重 さいくう平安の杜
9月30日	全国文化財保存技術連合会 平成29年度総会	三重 フレックスホテル
10月4日～6日	●固有技術向上研修会（漆塗装研修会 第Ⅰ期）	京都 石清水八幡宮文化体育研修センター 清峯殿 (有)川面美術研究所 工房
10月9日	第5回 理事会	京都 京都駅前メルパルク内会議室
10月18日～21日	●固有技術向上研修会（丹塗・彩色研修会 第Ⅱ期）	京都 (有)川面美術研究所 工房
11月17日	●会員研修会	神奈川 鶴岡八幡宮他
11月17日	臨時総会	神奈川 新横浜プリンスホテル
11月18日	●建造物装飾修理用資材研修会Ⅰ	東京 (株)喜屋、(株)宮内不朽堂
12月6日～8日	●固有技術向上研修会（漆塗装研修会 第Ⅱ期）	京都 (有)川面美術研究所 工房
平成30年		
1月12日	第6回 理事会	京都 TKP ガーデンシティ京都 会議室
1月19日	●建造物装飾修理用資材研修会Ⅱ	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター
1月19日	●丹塗・彩色技能試験 査定会	同上
2月7日～9日	●固有技術向上研修会（漆塗装研修会 第Ⅲ期）	京都 (有)川面美術研究所 工房

次年度から代表理事が交代します



今年度も、皆様のご協力のおかげで予定通り各事業を実施することができました。

主な活動として、伝承者育成のための座学研修には本らの参加もあり、盛会のうちに終了いたしました。

技術研修も、昨年に続き漆技術研修会全3回、丹塗・彩色部門は全2回の研修会に加え、課題に向けた手板作成にて技能試験及び査定会を実施し、これら3年間の研修を締めくくることができました。

さて、平成23年10月に就任しました（当時 杜寺建造物美術協議会）会長職であります。この度、平成30年3月期事業年度をもつて任期満了となり、退任の運びとなりました。

在職期間中は皆様には大変お世話になり、またご指導いただきましたこと、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。新しく代表理事に就任予定のデービッド・アトキンソン氏に対しましても、なお一層ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



新代表理事 デービッド・アトキンソン

去る平成29年10月9日の理事会並びに11月17日の臨時総会において、当協会の会長に就任することとなりました。振り返ってみれば、歴代の会長はお一人お一人が先代の方針を引き継ぎ、その時代の課題に応えるべく方針を開いて参りました。私もその流れを尊重し、引き継いで参りたいと思います。文化財を修理する職人にとって、今の時代は過渡期であると認識をしています。昔のように、入札もなく、お出入りを中心とした業界で、技術も会社秘で親方から弟子へと繋がっていた時代は変わり、現在は入札制度の下で新規参入が増え、社美協も新規メンバーを迎えております。同時に、経済環境の厳しい中でも、観光戦略の発展により文化財が果たす役割が変化して、文化庁の予算も増加しています。業界として注目される事は喜ばしい反面、責任も大きく増えることを意味します。この二つの要素に応えるべく、社美協は技術を一層鍛錬することは勿論のこと、職人の世界のよき伝統を守りつつ、各社各人のプロフェッショナル意識を高める必要があると思います。

業界の責任ある施工、健全なる発展に貢献する所存ですので、皆様の御指導、お力添えを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

新体制

副会長	（理事）	デービッド・アトキンソン
運営委員	（理事）	澤野道玄
田鹿秀夫、森本安之助	荒木かおり、大谷哲秀、片山富夫	

代表理事 荒木かおり

平成30年度杜寺建造物装飾技術者事業計画（国庫補助事業）

1. 建造物装飾修理用資材研修会<対象：中級・上級技術者>

漆や膠、金箔などの建造物装飾の修理に欠かせない材料についての研究・調査や、講師を招いてその現状の講義や、資材の製造業者などを見学し、問題点を検討し改善策をたて、今後の修理に活かしていく。

2. 後継者養成研修会<対象：主に初級及び30歳未満の技術者>

文化財建造物装飾の基礎知識向上の為に、今年度も引き続き「座学研修」を行う。外部の講師をお招きし文化財行政や業界が順守しなければならない法律や規制等を含めた座学研修を実施することで、若手技術者が実作業では得ることのできない幅広い知識を習得でき、将来の後継者養成に繋げる。

3. 会員研修会<対象：会員>

各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化へのさらなる広い視野をもった人材を養成する。

4. 固有技術向上研修会

昨年まで3部研修を行っていたものを5部研修に増やす

「漆」「丹塗」「彩色」「金具」「剥落止め」各専門分野の技術研修会の実施。

5部会研修の取り組み内容

4-① 各部会研修成果に対する「合評会」の実施

4-② 各部会初級技術者対象の基礎的技術研修の実施

① 伝承者の育成

② 技術・技能の練磨

③ 刊記行録作成

○ホームページの運用見直し（各会員会社からの情報取り込み～発信）

○報告書と会報「すいかづら」による研修事業の成果報告。（年1～2回発行）

「共通座学研修会」

目的：本年度も共通座学研修会を行い、今年は「文化財維持に対しての思い・修理技術者に求めること」のテーマで、文化財所有者の立場より3名の先生方にご講義をいただきました。

期間：平成29年7月21日

講師：神居文彰氏（平等院 住職）、田中博志氏、神道尚基氏（石清水八幡宮 権禰宜）

場所：石清水八幡宮 青少年文化体育研修センター 清峯殿

研修生：当協会より32名、他選定保存技術保存団体より10名 計42名



今年度の共通座学研修会は、平成27年度研修より3年間を1タームとしたまとめの位置づけで、講師に平等院住職 神居文彰氏、石清水八幡宮 権禰宜 田中博志氏、神道尚基氏をお招きし、「文化財維持に対しての思い・修理技術者に求めること」というテーマでご講義をいただきました。当協会より32名、聴講生として他選定保存技術保存団体より10名の参加があり、文化財維持に関する現状の問題点等、所有者と修理技術者双方で考えていかなければならぬ問題についても触れられ、有意義な時間となりました。

「丹塗・彩色技術研修会 第Ⅰ期～第Ⅱ期」

期間：第Ⅰ期 平成29年9月20日～22日 8名

第Ⅱ期 平成29年10月18日～21日 8名

内容：一間社流見世棚造模型への丹塗・彩色実習

講師：丹塗：片山龍馬（株片山）彩色：小野村勇人、久安敬三（有）彩色設計、中西友紀（有）川面美術研究所

研修生：中川次郎、山本真由美（有）彩色設計、伊原実穂（有）佐和漆工芸社、高井みいる、砺波高士（株）さわの道玄、木本美由貴、正金夕佳（有）島津漆彩色工房、飯尾寿子（有）川面美術研究所



今年度は、昨年度の研修で描きおこしを行った一間社流見世棚造模型の原図を元に、模型に実際に丹塗・彩色を施す研修を行いました。研修生を4名ずつ2班に分け、班ごとに丹塗と彩色を交互に進めました。丹塗は、まず手板に丹土を塗り、刷毛の使い方などの指導を受けて実際に模型への塗装を行いました。彩色は原図を模型に転写するところから始め、各自の担当部材について第Ⅰ期・第Ⅱ期研修で仕上げました。

「漆技術研修会 第Ⅰ期～第Ⅲ期」

期 間：第Ⅰ期 平成29年9月20日～22日 11名

第Ⅱ期 平成29年10月18日～21日 10名

第Ⅲ期 平成30年2月7日～9日 8名

内 容：石清水八幡宮本殿 八足案への漆塗装・塗り直し

講 師：岩本元（株）小西美術工藝社、田鹿秀夫（株）はせがわ美術工芸

研 修 生：木村広名（株）片山）、津森憲仁（株）さわの道玄）、宮原義宗（（一財）塩尻・木曽地域地場産業振興センター）、上田郁美、長岡薰（有）島津漆彩色工房）、野添晃太郎、吉村拓磨（株）はせがわ美術工芸）、太田晋介、日岡将之、渡辺裕介（邑田漆芸（株））、柿正弘（株）若林工芸舎）



今年度の漆技術研修会では、石清水八幡宮本殿の八足案3基への漆塗装・塗り直しを行いました。第Ⅰ期研修初日に八足案が設置されている現地を訪れ、設置場所の環境調査とオリエンテーションを行いました。その後、3基の八足案に対し研修生を3班に分け、各班で修理仕様について討議を行いました。

第Ⅰ期研修2日目には八足案を解体し、傷み方の異なるそれぞれの案の状態を確認するとともに、各班で決定した、案の設置環境を鑑み耐候性を重視した修理仕様のもと、3期にわたる研修で修理が進められました。

計9日間の研修で、予定していた上塗り前までの工程を終えました。

「会員研修会」

目 的：各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物における装飾分野の研鑽を深め、日本文化へのさらなる広い視野をもった人材を養成する。

期 間：平成29年11月17日

場 所：鶴岡八幡宮、建長寺、円覚寺

参 加 者：荒木かおり（有）川面美術研究所）、澤野道玄（株）さわの道玄）、デービッド・アトキンソン（株）小西美術工藝社）、小野村勇人（有）彩色設計）、太田洋志（（一財）塩尻・木曽地域地場産業振興センター）、島津亮介（有）島津漆彩色工房）、田鹿秀夫（株）はせがわ美術工芸）、邑田佳子（邑田漆芸（株））



本年度の会員研修会では、神奈川県鎌倉市の鶴岡八幡宮、建長寺、円覚寺を訪れました。鶴岡八幡宮本殿にて正式参拝を行った後、攝社若宮（重文）保存修理工事元請の（株）魚津社寺工務店様並びに（株）小西美術工藝社ご担当者様にご案内をいただき、現場見学を行いました。天候にも恵まれ、鶴岡八幡宮参拝後は建長寺、円覚寺へと、鎌倉街道を散策しながら移動し、建長寺唐門（重文）では、これまでに修理に携わった会員会社による解説も行われ、貴重な機会となりました。

「丹塗・彩色技能試験」

査定会：平成30年1月19日（京都市文化財建造物保存技術研修センター）

講師：黒坂貴裕氏（文化庁 文化財部 参事官付（建造物担当）文化財調査官）、鶴岡典慶氏（京都府教育庁 指導部 文化財保護課 建造物担当課長）、馬場良治氏（選定保存技術【建造物彩色】保持者）、後藤佐雅夫氏（（公社）全国国宝重要文化財所有者連盟 常務理事・事務局長）

受験者：6名（3社）【参加者16名】



丹塗・彩色部会では、昨年の漆部会に引き続き、現在の技能到達度確認の機会として「丹塗・彩色技能試験」を実施しました。

丹塗技能試験では、耐候性を重視した仕様で、手板に丹塗と胡粉塗りをマスキングテープ等を用いずに塗り分けるという課題が出されました。

彩色技能試験では、淨瑠璃寺三重塔内部天井長押文様の一部について模写と見取り図の作成を行い、使用されている絵具等の材料を現状写真から読み取って手板に描くという課題が出されました。

その手板の出来栄えについて6名の方で査定いただくとともに、受験者各自が作成した仕様報告書に基づくプレゼンテーションを行い、施工にあたり工夫した点や苦労した点についても発表されました。

なお、試験の結果は認定ポイントに換算のうえ、各受験者のポイントに加算されます。

「建造物装飾修理用資材研修会Ⅰ」

期間：平成29年11月18日 午前 11名、午後 9名

講師：松下満氏（株喜屋）、宮内希望氏（株宮内不朽堂）

研修生：佐々木直美（株小西美術工藝社）、小野村 勇人（有彩色設計）長屋進（午前のみ）、藤原二郎（株さわの道玄）、呂田佳子（午前のみ）（呂田漆芸株）、政井明（株若林工芸舎）、春日俊吾、宍戸優子（有）川面美術研究所



本年度の建造物装飾修理用資材研修会では、日本画材料の専門店で岩絵具の製作を行う（株）喜屋と、絵筆や刷毛の製作を行う（株）宮内不朽堂を見学させていただきました。

午前に訪問した（株）喜屋では、天然岩絵具の原材料となる鉱物について、また岩絵具の精製方法について等のお話を伺いました。

午後に訪問した（株）宮内不朽堂では、さまざまな動物の毛から作られる筆やその特徴についてお話を伺い、筆製作の実演を見学しました。

天然岩絵具では良質な鉱物が年々少なくなっていること、筆の製作では毛を揃える際に使用する金属製の櫛を作る職人がいないという現状をお伺いし、文化財修理になくてはならない材料や道具の調達において今現在直面し、考えていかなければならぬ問題について危機意識を新たにしました。

国庫補助事業研修会



「建造物装飾修理用資材研修会Ⅱ」

期 間..平成30年1月19日
場 所..京都市文化財建造物保存技術研修センター
内 容..文化財修理における有機溶剤の取り扱いについて
講 師..佐野千絵先生（独法）国立文化財機構 東京文化財研究所 保存科学研究
センター センター長）

早川典子先生（同修復材料研究室長）
昨今、建造物彩色のクリーニング・剥落止め事業において有機溶剤を使用する場面が増えていることから、（独法）国立文化財機構 東京文化財研究所より佐野千絵先生、早川典子先生をお招きし、「文化財修理における有機溶剤の取り扱いについて」という演題でご講義をいただきました。

佐野先生には有機溶剤の管理方法や危険性と有害性、安全管理データシートから読み取るべき内容について、リスクアセスメントの観点よりお話をいただきました。

早川先生には彩色文化財の劣化の仕組み、汚れの種類とそれぞれの除去に使用する薬剤についてお話しいただき、普段の作業環境や、有機溶剤を取り扱う上の意識を見直す有意義な機会となりました。

今年のワークショップ



中京区民ふれあい事業実行委員会主催の「子ども体験教室」は、未来を担う子どもたちに地域に根付く文化や歴史を体験してもらうことで、子どもたちが「ほんもの」を知るきっかけとすることを目的として開催されているイベントです。今年、当協会にイベントへの協力依頼があり、文化財修理や実際に修理に用いる材料に触れてももらうため、日本画の材料を使用したうちわへの彩色・砂子撒きの指導を行いました。

用意した4種類の絵柄の中から好きな絵柄を選んでもらい、うちわの片面には絵柄を転写するところから彩色まで、もう一方の面には砂子を撒き落款を押してもらいました。

普段あまりなじみのない材料に触れた子どもたちからは、「いろいろな色の絵の具があつて面白かった」「金箔に触れて楽しかった」等の感想が聞かれました。

中京ふれあい「子ども体験教室」 (京都市中京区)

中京ふれあい「子ども体験教室」 (京都市中京区)

期 間..平成29年8月8日
場 所..中京区役所 会議室（京都市中京区）
内 容..うちわへの彩色・砂子撒き
担 当..（株）さわの道玄、（有）川面美術研究所
参加者..33名



「日本の技体験フェア」は、文化財の保存のために欠くことのできない「文化財の保存技術」を広く紹介することを目的とする文化庁主催のイベントで、今年度は三重県多気郡明和町にて開催されました。

当協会は、展示で漆・金具・丹塗・彩色の各部門紹介を行い、（特非）日本伝統建築技術保存会、（一財）全国伝統建具技術保存会、全国文化財壁技術保存会と合同で、参加者が各団体を回り一つの壁掛け飾りを作成する「壁掛け製作体験ラリー」コーナーにて、壁掛け飾りへの彩色と鉄打ちの指導を担当しました。

昨年同様、体験希望者への整理券配付場所には開場前より長蛇の列ができ、2日で計100枚用意された整理券は早々になくなりました。

家族連れなど、幅広い年代の方々に文化財修理に使用する絵具や道具に触れていただき、建造物装飾修理について紹介することができました。

日本の技体験フェア（三重県多気郡）

日本の技体験フェア（三重県多気郡）

期 間..平成29年9月30日・10月1日
場 所..さいくう平安の杜（三重県）
内 容..展示、壁掛け飾り製作（彩色）
担 当..（株）はせがわ美術工芸、（有）川面美術研究所

(一社)社寺建造物美術保存技術協会 名簿

平成30年3月

No.	企業名(正会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX番号
1	(一社)天野山文化遺産研究所	山内 章	586-0086 大阪府河内長野市天野町997	0721-55-3772 0721-55-3776
2	(株)大谷相模掾鑄造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	537-0011 大阪市東成区東今里2-6-20	06-6971-6571 06-6971-6511
3	(株)片山	片山富夫	601-8303 京都市南区吉祥院向田東町10	075-322-1236 075-316-6333
4	(有)川面美術研究所	荒木 かおり	616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2	075-464-0725 075-464-0099
5	岸野美術漆工業株	岸野直資	321-1404 栃木県日光市御幸町587-2	0288-53-3366 0288-54-0072
6	(株)小西美術工藝社	デービッド・アトキンソン	108-0014 東京都港区芝4-4-5三田KMビル3階	03-5765-1481 03-3455-9250
7	(有)彩色設計	小野村勇人	615-8072 京都市西京区桂木ノ下町25-8	075-201-4582 075-201-4582
8	(有)斎藤漆工芸	斎藤敏彦	250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-381	0460-84-2802 0460-84-0770
9	(株)さかい	酒井清裕	520-2331 滋賀県野洲市小篠原7-1	0775-87-1178 0775-87-5355
10	(有)佐和漆工芸社	伊原建樹	321-1423 栃木県日光市七里880番地5	0288-53-3106 0288-53-3118
11	(株)さわの道玄	澤野道玄	604-8232 京都市中京区錦小路通油小路東入る空也町491	075-254-3885 075-254-3886
12	(一財)塩尻・木曽地域地場産業振興センター	小口利幸	399-6302 長野県塩尻市木曽平沢2272-7	0264-34-3888 0264-34-2832
13	(有)島津漆彩色工房	島津達也	731-5151 広島県広島市佐伯区五日市町大字上河内791-3	082-208-2407 082-208-2407
14	(株)はせがわ美術工芸	秋吉泰良 (田鹿秀夫)	822-0011 福岡県直方市大字中泉今林885-26	0949-24-7211 0949-24-7221
15	邑田漆芸株	邑田正廣	607-8355 京都市山科区西野大鳥井町118-45	075-591-4137 075-502-0638
16	(株)森本鎌金具製作所	森本安之助	600-8321 京都市下京区楊梅通西洞院東入る八百屋町59	075-351-3772 075-361-8877
17	(有)横山金具工房	横山智明	601-8394 京都市南区吉祥院中河原里北町14-3	075-325-4861 075-325-4862
18	(株)若林工芸舎	新谷和義	600-8218 京都市下京区七条通新町東入西境町146番地	075-371-3137 075-371-3140
No.	企業名(賛助会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX番号
1	(株)堤浅吉漆店	堤 孝	600-8098 京都市下京区間之町松原上ル稻荷町540	075-351-6279 075-351-6270
2	ナカガワ胡粉絵具株	中川晴雄	611-0013 京都府宇治市菟道池山24番地	0774-23-2266 0774-20-4666
3	NPO法人丹波漆	岡本嘉明	629-1302 京都府福知山市夜久野町今西中710番地	080-5700-4363
4	NPO法人麗潤館	矢崎孝子	319-3526 茨城県久慈郡大子町大子705	0295-76-8777 0295-76-8779



実績として、二条城東大手門修復工事、東本願寺両堂修復を中心に、現在は總本山知恩院にて塗り工事を作業中です。まだまだ文化財修復の実績は浅く、これからも事業を推進してゆく中で、若い後継者の登用と育成を重点目標にしております。文化財修復は手仕事なくして成り立ちません。ベテランを中心に戸主を問わず若手が伸びる環境をつくり、研修に積極的に参加し、経験を積ませ、職人の底上げをしてこれらの文化財修復を背負って立つ人材の養成の場でありたいと考えております。

今後とも会員先輩諸氏のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

株式会社
若林工芸舎

新規入会会員紹介

(京都)

(株)若林工芸舎は京都にて一八三〇年創業の(株)若林仏具製作所を母体として、平成18年(二〇〇六年)に設立いたしました。これまでに漆塗り・金箔押しをはじめとする塗装工事、金紙貼・彩色をはじめとする内装工事を施工してまいりました実績とノウハウを活かし、文化財修復の世界に携わってゆく中で、平成27年(塗装)、28年(板金)にて京都府の重要な文化財入札参加資格を取得いたしました。引き続き推薦をいただき、一般社団法人社寺建造物美術保存技術協会様より28年には準会員、29年には正会員に認定をいたしました。

文化財の所有者様からのご講義に加え、有機溶剤に関する知識向上のための研修。そして3年にわたる総まとめとしての各技術研修会、査定会等今年度も皆様のご協力のおかげで予定通り各事業を実施することができました。引き続き、ご協力を宜しくお願いします。(Y)